



2007年4月8日施行の兵庫県議会議員選挙

トップ当選！！

いとう 順一

15731票のご期待に全力を尽くします！！

ごあいさつ

## 県民主権社会を宝塚から！！

～あなたと出会えて本当に良かった！～

いよいよ6月11日から任期が始まりました。これからの4年間精一杯頑張ってお参ります！よろしくお願い致します！

私は生まれ育った宝塚をより良い街にしたい！と18年間に亘り社会貢献活動に携わってきましたが、その活動の中で一貫して感じた想いは「私たちの地域は私たちでつくる」ということです。地方分権一括法によって、国と地方の関係は対等になりましたが、仕組みが変わるだけでは民主主義は育ちません。行政だけに任せる政治・街づくりから、住民・県民が主体となって「宝塚」を県下において名実ともに誇れる街・そして全国にむけても「誇れる街」にしなければならないと考えます。県民の皆様と共に考え・共に活動し、そして共に宝塚を安心・安全に暮らせ、活力溢れる街にするべく、県政の立場から全力を尽くして参ります。

## 伊藤 川順一プロフィール

(いとう じゅんいち 血液型O型)

1962年7月10日宝塚市に生まれる／めぐみ幼稚園／宝塚第一小学校／宝塚第一中学校／高司中学校編入（中学2年生時新設により転校）／兵庫県立宝塚高校／立命館大学経営学部卒

1985年大阪国税局に国税専門官として採用 尼崎税務署所得税課に配属 1988年大阪国税局退職・(有)阪神米油宝塚入社／現 同社代表取締役

☆兵庫県自治賞受賞('02)

## 小沢代表が日本記者クラブで会見

## 新近代国家モデルを提唱『自由と平等・安定の調和』

小沢一郎代表は、日本記者クラブで記者会見し、2007年政治決戦の「天王山」である参議院選挙と、それを契機とした政権交代に向けて、自民党と民主党との対立軸などについて所見を明らかにしました。その中で、日本の二大政党制の基本理念について「小泉・安倍流の市場原理万能、自由放任を徹底的に進めていくのか、それとも、大多数の国民が安定した暮らしのできる仕組みを作ることを重視するのか。

その違いが根本的な対立軸になる」と述べ、民主党は年金・医療、雇用、食料などで「日本型セーフティネット」を確立することを最重要課題としていくことを強調。

そのうえで、民主党政治の究極目標として「米国流の市場主義、自由主義を重んじるやり方と、日本的な平等、安定を重んじるシステムとを、上手く調和させるのがベストだ。そういう新しい近代国家のモデルを日本から世界に発信したい」との考えを明らかにしました。さらに、「中央、大都市と地方の格差は確実に大きくなっている。財政面を配慮し、地方への配分を縮小してきた小泉政権の結果である。中央と地方の格差をなくしバランスのある国土をつくりあげるためには、明治以来の統治機構を根本的に変える必要がある」として、中央集権型、官僚規制型の国家からの転換を訴えました。

